

No. 1471

'84 消防出初式

新春恒例の東京消防出初式が1月6日東京・晴海で開られました。

消防職員等4500人、ポンプ車180台も参加。花塚消防総監の訓示のあとパレード。火災を始め地震災害などにも対応できる現代消防の力を示しました。

災害はいつ発生するかわかりません。日頃から充分注意したいものです。

フラッシュ

- ① お正月が終ると受験シーズン。
ここ湯島天神も「神頼み」の学生で一杯。誰れに御利益が授けますか。
- ② 昨年暮発足した第2次中曽根内閣。
新自由クラブと連合したものの、内外の難局を乗り切れるかどうか？

近江の奇祭

静かなたたずまいを見せる琵琶湖。湖の南側に接する滋賀県守山市、勝部町の町かどには、年があけるとすぐに、ナタネガラで作った大きな松明が横たわる。1月8日、日が沈むと直径3メートル、長さ5メートル、重さ400キロの大松明16基が裸の若者たちによって勝部神社にかつぎ込まれる。「勝部の火祭り」だ。

この火祭りは760年前、土御門天皇が病氣の時、全快を願った地元民が満願の日に現われた大蛇を焼き殺したところ、天皇の病氣もたちどころに回復したという故事にちなんだもの。県の無形文化財に指定され、県下最大の新年伝統行事として大勢の見物客を集めている。午後9時、一斉に点火。火柱が冬空20メートルの高さに達し祭りは最高潮。町の人々や見物客は今年一年の無病息災を祈った。